

在宅医療・介護多職種連携協議会 研修部会 ～報告～

目 的

在宅医療に係る多職種連携の推進のための研修体制について検討する。

- 顔の見える関係会議の内容について検討
- その他の研修（各団体主催研修会の連携・調整など）について検討

＜令和 6 年度＞ 部会内容

第 1 回部会

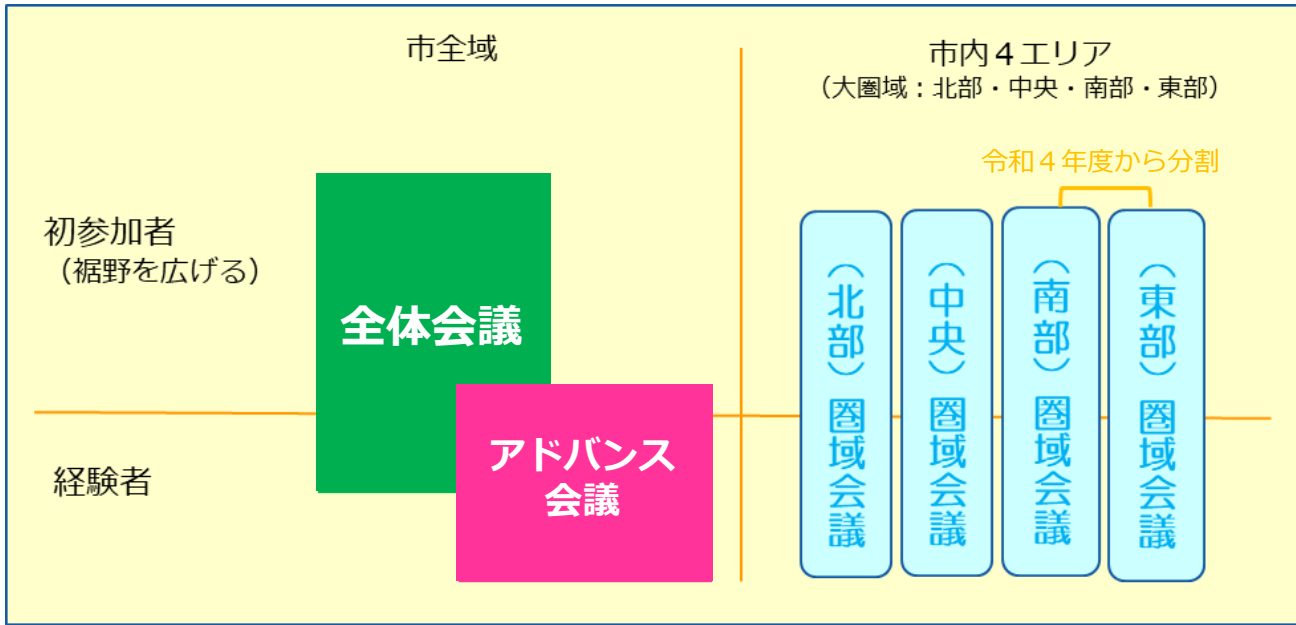
（令和 6 年 5 月 28 日）

- | | |
|----|------------------------------|
| 議事 | 1. 令和 6 年度 顔の見える関係会議について |
| 報告 | 1. 意思決定支援 e ラーニング教材の活用方法について |
| | 2. 令和 6 年度 各団体の研修会予定一覧 |

議事1 令和6年度 顔の見える関係会議について

令和5年度の実施状況

* 各会議前には、ファシリテーター会議を実施



■ 全体会議

神経難病と意思決定支援

参加者数：107名

■ 圏域会議

在宅療養者を守るための連携型BCP・地域BCPについて

参加者数：209名（北部75名，中央63名，南部45名，東部26名）

■ アドバンス会議

独居高齢者の日常生活の支援から看取りまで

参加者数：116名

議事1 令和6年度 顔の見える関係会議について

令和5年度第2回研修部会でのご意見を踏まえ、各会議の目的や対象者を以下のとおり設定。

- 全体会議

(参集予定)

目的 : 医療・介護連携の裾野を広げる

対象者 : 初めて顔会議に参加をする方を優先
- 圏域会議

(参集予定)

目的 : 実際の業務連携につなげる

対象者 : 初めての方, 参加した経験がある方, どちらも可
- アドバンス会議

(参集予定)

目的 : 柏市内の課題に対しての対応策・ルールを検討

対象者 : 顔会議に参加した経験がある方を優先



令和6年度第1回研修部会にて、今年度の顔の見える関係会議のテーマについて協議しました。

	全体会議	圏域会議	アドバンス会議
主なご意見	・もしばなゲーム ・がんについて ・フリートーク 等	・8050問題 ・BCP（業務継続計画） ・地域の資源について 等	・災害について ・ハラスメント ・パーキンソン病 等

上記のご意見を踏まえて、以下のとおり全体会議を実施することになりました。

日 時：令和6年7月23日（火）19時から

テーマ：「もしも」を話して意思決定支援について理解を深めよう
(もしばなゲームと意思決定支援に係るミニレクチャーを予定)

場 所：柏地域医療連携センター1階 研修室

コロナ禍で集合型研修が実施できない中でも、本人の意向を尊重した医療・介護ケアをおこなうために、**意思決定支援eラーニング教材**の作成を進めています。

■目的

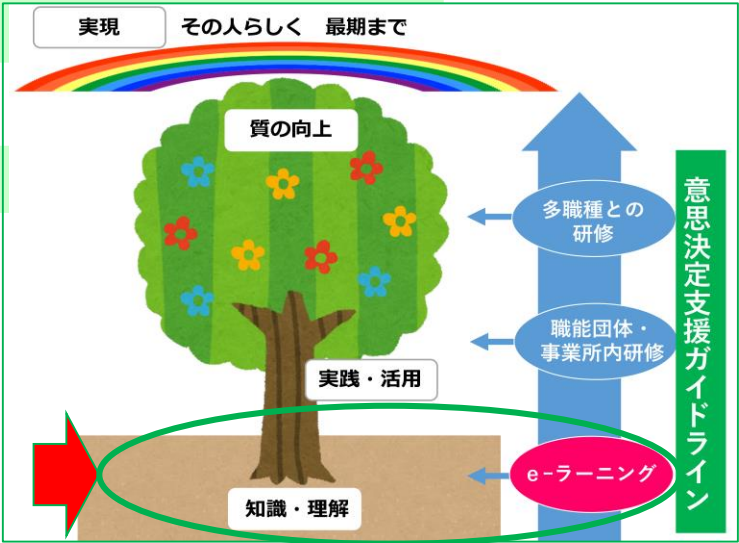
- ・意思決定支援とはなにか、専門職が支援することの必要性・大切さを理解することができる。
- ・日々の支援の中で、各職種ができることを知り、実践につなげることができる。

■対象

- ・柏市で働く医療・介護の専門職（特に意思決定支援の経験が少ない方）

■コンセプト

- ・意思決定支援ガイドラインがベース
- ・簡単にアクセスできる（柏市HPに公開）
- ・短時間で受講できる構成
- ・実際の支援の場面を映像やイラストで紹介する



構成

導入編（5分）

- ・意思決定支援とはなにか、どうして必要か
- ・本人や家族に対する効果
- ・専門職にとってのメリット 等

事例からの学び

在宅編

施設編

- ・ケース紹介(4分)
- ・個別インタビュー(10分×7人)
- ・座談会（振り返りの機会の効果）(10分)
- ・まとめ(2分)

実践ツール

- ・意思決定支援ガイドライン 等

部会員の皆様のご意見 (令和5年度第1回研修部会)

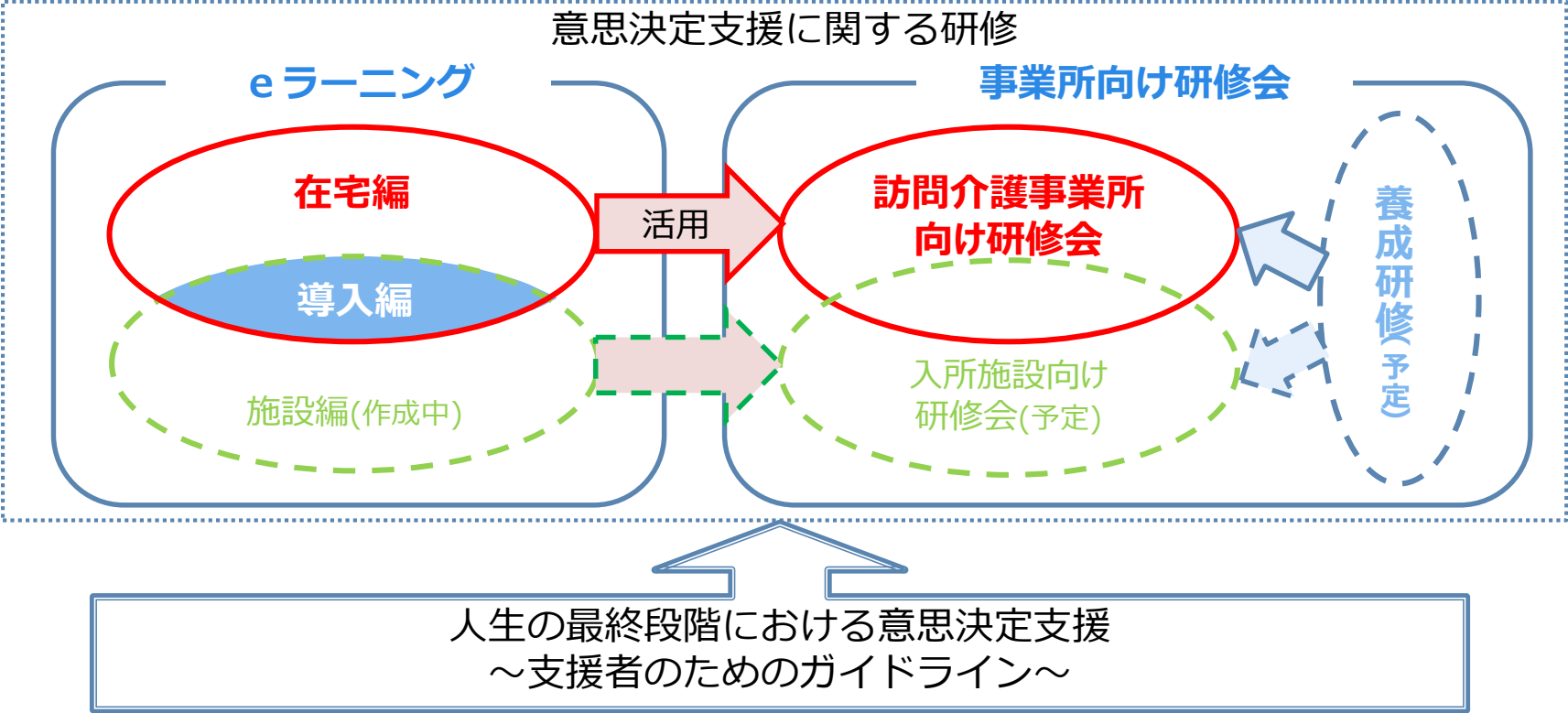
個人で活用

- ・ 業務の空き時間に視聴
- ・ 看取り対応後・支援に迷った時など、視聴するタイミングが大切

事業所で活用

- ・ 参集で研修を行う場合は、1時間程度のパッケージが良い

イメージ



「導入編」「事例からの学び(在宅編)」の感想等について

個人で活用

令和6年1月より、「導入編」「事例からの学び(在宅編)」を、
柏市ホームページに公開しました。

■総視聴回数 ※ 11コマある動画の視聴回数の合計

1,060回 (令和6年5月1日時点)

■視聴後の感想等について ※ 視聴後アンケートより

市内事業所や市内病院に勤務している、主任介護支援専門員、作業療法士、
看護師、社会福祉士等の方々が視聴後アンケートに御協力くださいました。

〈感想(一部抜粋)〉

- ・意思決定支援はなかなか難しいが、ポイントとなることを知ることができた。(看護師)
- ・何気ない会話から、本人、家族の真意をその都度くみ取る。それを関係者と共有する。揺らぐ気持ちを理解し、話し合い、相談を繰り返す。
ターミナルではなくても、日々のかかわりでも言える事だと思った。(ケアマネジャー)
- ・ヘルパーさんは関わりが多いため、本人や家族から色々なお話を聞く機会も多く、情報共有も意識的に行っていきたいと思った。(看護師)

意思決定支援研修会（試行）※介護サービス事業者（訪問系）の介護職員向けの研修会

事業所で活用

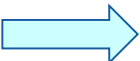
各事業所で実施できる研修パッケージの作成及び、研修実施者養成研修に向け、訪問介護事業所での試行研修を実施しました。

訪問介護事業所 介護職員向けの試行研修

- 日時／対象) 令和6年2月22日 / 介護職8名
- 協力事業所) 訪問介護ステーションかなで・みずたま介護ステーション柏・みずたま介護ステーション柏南
- 目的) ・研修参加者が意思決定支援について理解し、各自の日頃の支援において、どのように意思決定支援に取り組むかを考えることができる。
- ・当該事業所において、本人の意向に沿った支援を行うための取り組みを、検討するきっかけとなる。
- 対象) 柏市内の訪問サービスを提供している事業者の介護職員 等
- 方法) ・意思決定支援ガイドライン及びEラーニング動画（在宅編）を活用
- ・事例を用いた検討（グループディスカッション等）、学びの振り返りと共有 等
- 評価) 参加者アンケートの実施：事前、事後（直後）

〈参加者からの感想〉

- ・普段の関わりや本人・家族の何気ない言葉からの気づきも大事だと分かった。
- ・些細な事も支援者チームで情報共有することが大切だと分かった。

 研修により、概ね意思決定支援について理解ができ、新たな学びにもつながった

令和6年度の予定

■研修部会

- ・第1回：令和6年5月28日（火） 19時～
- ・第2回：令和7年2月14日（金） 19時～

■顔の見える関係会議

- ・全体会議 令和6年7月23日（火） 19時～
- ・合同ファシリテーター会議 令和6年9月 5日（木） 19時～
- ・圏域会議 *今後、エリア毎に日程を決定します。

エリア座長 北部：星野先生 中央：織田先生 南部：平野先生 東部：石橋先生

- ・アドバンスファシリテーター会議 令和7年1月 9日（木） 19時～
- ・アドバンス会議 令和7年1月24日（金） 19時～